



遠大勵志

高総体前期結果①

●陸上競技

(男子) 100m=1位	菊地琳太郎	10 秒 77
	2位	高杉時史 10 秒 84
(女子) 100m=1位	大山里花	12 秒 08
(女子) 走高跳び=1位	八重樫澄佳	1m65

【岩手日報 5月26日記事より】

▼女子走高跳びの八重樫澄佳(黒沢尻北1年)は、1m65の好記録で優勝した。「今季3戦目で自己記録(1m69)近くまで挑戦できて良かった」と笑みを浮かべた。1m50からスタート。強い向かい風を受けて助走から踏み切りまでのリズムが安定しない。1m56、1m62は一発で成功できず、1m65は3回目でようやく成功した。北上中時代の昨季は、県通信陸上で県中学記録をマーク。全国トップクラスの好記録だったが、全国大会は9位で入賞を逃した。10月下旬ごろに足の骨挫傷が発覚。冬場は体力作りに励み、高校デビューに備えた。2年後のインターハイに集大成を位置づける。今年は挑戦の年。ヒロインは「踏み切る技術を高め(走高跳びの)記録を全部塗り替える」と意気込んだ。

▼黒沢尻北勢が男女とも100mで頂点に立った。男子の菊地琳太郎(2年)と女子の大山里花(3年)は、スタートから先行して競り勝ち「練習の成果が出た」と喜んだ。「(レース実況で)終盤に(自分の)名前が聞こえて勝利を確信した」と菊地。低い姿勢で飛び出し、リラックスしたフォームで駆け抜けた。2位には昨年の全国中学校大会で6位に入った黒沢尻北の後輩、高杉時史(1年)が食い込んだ。大山は先行策が決まった。中盤は2位の佐々木慧(花巻東2年)に追いつけられなかったが、自分の走りを徹底。冬場に取り組んだマークを置いたスタート練習が実を結んだ。「普段から練習している(男子の)メンバーと勝てて良かった。次は一緒にインターハイ出場する」と活躍を誓った。



女子走高跳び決勝 1m65をマークし、1年生で優勝を飾った八重樫澄佳(黒沢尻北)

(女子) 棒高跳び=1位 金子遥果 3m20【大会新】

【岩手日報 5月27日記事より】

▼女子棒高跳びの金子遥果(黒沢尻北3年)は、今季から「相棒」とする長いポールを使いこなし大会記録(3m)を上回った。「しっかり調整して臨めた。(大会記録保持者だった)先輩を超えられた」と喜んだ。金子を除く選手が試技を終えた2m90から始動。続く3m、自己記録の3m10といずれも1回で成功した。3m20の試技では、持ち時間を十分に使い、気持ちを落ち着かせて挑戦。スムーズな助走から軽快に踏み切り、ふわりと舞った。冬場のトレーニングで上半身を強化。重量が増す長いポールを使えるようになり、より大きな反発を味方につける。「ポールの反発を押さえ込み、曲げることで良い跳躍ができた」と成長を実感しながらも「まだ助走が安定していない。改善して東北選手権は3位以内を目指す」と誓った。



(男子) 110mH=2位 菊地琳太郎 14 秒 99

3位 小原飛雄大 15 秒 25

(男子)トラック=3位 黒沢尻北 33 点

(女子)総合=3位 44 点、フィールド=2位 17 点

●バスケットボール

(男子) 1回戦 黒北60 - 41遠野

2回戦 黒北65 - 49福岡工業

3回戦 黒北60 - 65一関修紅

(女子) 2回戦 黒北90 - 52岩泉

3回戦 黒北87 - 49不来方

4回戦 黒北73 - 61水沢

準々決勝 黒北61 - 100一関学院 【ベスト8】

●サッカー

(男子) 1回戦 黒北7 - 0久慈

2回戦 黒北3 - 1一関第二

3回戦 黒北0 - 15専大北上 【ベスト16】

(女子) 400mリレー=3位 49 秒 18

(男子) 400mH=1位 小原飛雄大 54 秒 64

(女子) 400mH=3位 八重樫叶子 1分4秒18

(男子) 棒高跳び=1位 高橋聡平 4m20

(女子) 100mH=1位 駒ヶ嶺光瑠 14 秒 47

●ラグビー15人制Aブロック

1回戦 黒北 85 - 0水沢・水沢工業

準決勝 黒北 48 - 26 盛岡工業

決勝 黒北 0 - 98 黒沢尻工業 【準優勝】

【岩手日報 5月28日記事より】

▼黒沢尻北は黒沢尻工のスピードに守備を崩され、強みのFWを生かせなかった。PR 鈴木玲央主将(3年)は「相手を慌てさせたかったが、逆に自分たちの隙を突かれた」と唇をかんだ。「ディフェンスラインをしっかり作りFWの攻撃につなげたかった」と小田島康人監督。しかし球際への速さや的確な判断力で上回る黒沢尻工にボールを支配され、防御一方に。試合終了間際に敵陣深くまで攻め込んだが、トライが遠かった。準優勝で東北選手権への切符を得ており、鈴木主将は「ブレイクダウンでの戦い方を修正したい」。守備を立て直し上位進出を誓った。

●弓道

(男子)団体予選(40射)黒北 19中=準々決勝進出

団体準々決勝(予選+20射)黒北 31中=敗退

【ベスト16】

(女子)団体予選(40射)黒北 16中=敗退

高総体観戦記①

5月25日(金)

男女のバスケットボールを応援。男子は遠野と福岡工業に連勝した後の一関修紅戦。試合開始直前、選手は伊藤監督とハイタッチ。第1Qは15 - 21。第2Q開始直後に黒北は3点・2点シュートの連続ゴール。追撃態勢だ。点差がついても決してあきらめず、結果16 - 13(合計31 - 34)。ハーフタイムには、2階の11人のメガホン応援隊が「オーオー黒陵！」と声援。第3Qでは、「燃えろ黒陵」の声援。選手だけではなくチーム全体での戦いが始まった。残り4分20秒でついに同点。途中離され、結果は14 - 17(合計45 - 51)。最終第4Qは3点シュートが決まり、残り6分12秒で同点、残り6分でついに逆転に成功。しかし逆転されるが残り1分44秒で再び同点に。最後までつれた試合だった。結果は15 - 14(合計60 - 65)。本当に惜しい試合だった。健闘に心から拍手を送りたい。次に女子バスケット。2回戦岩泉に勝ち、勢いに乗った黒北の対戦相手は不来方高。第1Qの最初は一進一退の攻防が続くが、結果は20 - 8。第2Qは20 - 13(合計40 - 21)。第3Q、すぐに2点シュートを決め、途中では怒濤の連続7得点の場面もあり、結果は26 - 15(合計66 - 36)。第4Qもスピード感あふれるゲーム運びで、結果21 - 13(合計87 - 49)。圧勝のゲーム。男子はキャプテンを中心に5人の選手が、女子も試合直後全員でわざわざ挨拶に来てくれ、大変に恐縮しました。

女子には次の試合も是非頑張れ！とエールを送りました。その後は、北上総合陸上競技場へ移動。女子100m決勝を観戦。6コース大山さん。「オンユアマーク」のコール後、ジャンプしてリラックス。「セット」・・・「パーン」。追い風3.2mながら優勝を確信した大山さんは両手を広げゴール。タイムは12秒08。2位に0秒12の差をつけての優勝。本当に素晴らしい。続いて、男子100mの決勝。6コースには菊地くん、9コースには高杉くん。女子に続き好タイムかと思っただけで、見ている私が緊張。スタート後、二人はどんどん加速し、1位を確信した菊地くんは右手をあげてゴール。高杉くんも2位に入り、黒北がワンツーフィニッシュ。タイムはなんと、菊地くんが10秒77、高杉くんが10秒84。これもまた素晴らしい結果でした。

5月26日(土)

この日は、北上総合陸上競技場の400mHの男女の決勝しか見ることはできませんでした。400mの中に10台のハードルがあり、それを越えながらタイムを争う過酷な競技。まずは女子。本校からは4コースに八重樫さん。最後はコースに倒れこむ選手が2人もでる中、1分4秒18の3位でゴールを駆け抜けました。次に男子。3コースに小原くん。前半からどんどん加速し、いいペースでの展開。結果は54秒64の堂々の1位。どちらも素晴らしい結果でした。見ている私まで誇らしくなってきました。

5月27日(日)

サッカー競技の応援に、富士大学へ。対戦相手は一関第二。開始20分には、本校の17番の選手がゴールを決め、2 - 0でリード。しかし、前半終了間際に少しの隙を突かれ、相手チームに1点取られ、2対1で前半終了。後半も頑張っただけと思いつつ、この前半で会場を後にし、陸上競技場へ。三段跳びでは、千葉くんが13m48で6位。女子100mHでは、応援部の2人がリードする中、陸上部員が大きな声援。向かい風2.2mの中、7コースの駒ヶ嶺さんがスタートから独走し、14秒47で1位【3連覇達成!!】。5コースの八重樫さんは15秒46で4位。続く男子110mHでは、追風1mの中、しっかりと静止しなかったのでリスタート。7コースの菊地くんは14秒99の惜しくも2位。4コースの小原くんは15秒25の3位。次に7種競技の最後の種目800mに津田さんが登場。総合で6位となった津田さん、立派です。最後は1600mリレー。いよいよ花形種目、会場も一気に応援のボルテージ上昇。まずは女子。黒北は7コース。1走は小原さん、2走は八重樫さん、3走は駒ヶ嶺さん、4走は大山さん。バトンをつなぎ、一時3位、しかしアンカーは最後混戦になり、3分59秒50の4位。最後は男子。黒北は8コース。1走は松尾くん、2走は菊地くん、3走は高杉くん、4走は小原くん。女子と同様、最後は混戦になり、3分24秒00の4位でした。選手の皆さん！お疲れ様でした！！